



▲3月11日午後2時46分 黙とうする職員

◆3月11日、東日本大震災から10年目を迎えました。播磨町においても、甲旗を掲揚、発災時刻には、役場や公共施設などにおいて、黙とうを行い、犠牲者に対して哀悼の意を表しました。当時を振り返りますと、予算委員会の最中で播磨町役場の3階でも、これまでに経験したことのないような横揺れを感じ、直後に確認したテレビ中継の映像は、信じられない光景を映し出していました。その後、職員を派遣し、私も仕事で3度被災地を訪れる機会がありましたが、その時に見た光景を忘れることはありません。復興が進む今も尚、癒えぬ悲しみを抱えた人々が、後世のために、私たちに伝えようとしている言葉をしっかりと受け止め、防災施策に生かしていきたいと思えます。令和3年度の予算で災害が起きた場合に他市町職員の応援をスムーズに受け入れるための「受援計画」や「災害廃棄物処理計画」の策定を行います。南海トラフ巨大地震において想定される津波の高さは、播磨町では2.2m。1mに達するまでの到達時間は、110分と予測されています。災害は想定外もあるということも心して、今一度、各自の備えをご確認いただきたく思います。

◆今年も多くの卒業生が学び舎を巣立っていきました。本来ならたくさんの思い出を積み重ねる最終学年のはずですが、今年はコロナ禍で多くの学校行事が中止や縮小になり、残念に思っています。町では小中学校の卒業生が本を通じて新たな知識を得て、もっと広い世界を知っていただくよう、図書カードを祝い品としてお贈りしました。これからの学業に役立てていただければ幸いです。卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。いつかコロナが収束したら、その時は、あなた達が活躍する時代です。

播磨町長 清水ひろ子

トピックス まちのわだい



令和2年度播磨町スポーツ賞

生涯学習グループ ☎079(435)0565

町のスポーツ振興に功績のあった方や、権威ある大会において優秀な成績を収めた選手及び指導者の表彰式が2月13日に中央公民館で行われました。



受賞者は次の方々です。(敬称略)

スポーツ功労賞

平郡百合子 播磨町グラウンド・ゴルフ協会
(グラウンド・ゴルフ)

スポーツ勲功賞

高坂翔平 播磨南中学校(陸上競技)

スポーツ優秀選手賞(優秀賞)

岡田柚希 大阪学院大学(陸上競技)

大崎洋介 日本体育大学(陸上競技)

ドロバットさほ 播磨南中学校(陸上競技)

スポーツ優秀選手賞(奨励賞)

小林勇惺 播磨中学校(陸上競技)

上岡凜 播磨南中学校(陸上競技)

スポーツ優秀選手賞(敢闘賞)

笠松拓真 神戸国際大学付属高等学校(硬式野球)

釜江花波 東はりま特別支援学校(水泳)

楽屋裏
4月1日のオープンより一足早く望海公園に行きました。カラフルな複合遊具で子どもたちが元気に遊ぶ姿を早く見たいです。大きな遊具のすぐそばにベンチがあるの、子どもを遊ばせるとき座る場所があっただけで、子どもを遊ばせるむずかしい場所が、園内を歩くと、線路模様も、木陰も、新しく植えた木も、島桜が育つてきたり、みずくは、海辺のバーベキューは、もちろん、お弁当も持って行くのもお散歩に行ってみませんか?
(宮)

きゃんぱすだより

豆まきでコロナを吹っ飛ばせ!

播磨南小学校1年生・6年生

令和3年2月2日は例年より1日早い節分でした。これは、明治30年(1897)2月2日以来124年ぶりのことだそうです。その2月2日に1年生と6年生と一緒に運動場で豆まきをしました。

1年生が作った鬼のお面。赤鬼、青鬼など色とりどりのお面ができました。1つは自分のお面、もう1つのお面は6年生にプレゼントしました。

いつもの仲良しペアでいよいよ豆まきがスタート。初めは6年生が鬼の役です。逃げ足の速い大きな鬼を懸命に1年生が追いかけて、「鬼は〜外! 福は〜内!」のかけ声とともに豆をまきました。次は1年生が鬼の番です。6年生はかわいい1年生鬼に手加減をしながら豆を投げます。運動場いっぱい駆け回る1年生と6年生の楽しそうな笑い声が響き渡っていました。

例年なら1年生と6年生の仲良しペアで、1年を通じて休み時間に遊んだり、色々な行事に取り組んだりするのですが、今年度はコロナ感染症防止のため、その交流もなかなかできていませんでした。6年生はいよいよ卒業です。小学校生活のいい思い出になったことでしょう。



1歳

ひろえ かのか
廣江 穂乃果ちゃん
(二子)

いつもかわいい笑顔で癒してくれてありがとう。
これからもすくすく育てね。
(パパ、ママより)

※撮影時の年齢。

おおきくな〜れ



子育て支援センター

たまには、お母さんにも
ご褒美を!!

子育て支援センターを利用しているお母さんたちに、今、一番したいことは何ですか?と、聞いてみると、「ひたすらゆとり寝たい」「二人でゆっくりお風呂に入りたい」「友達とカフェに行つて美味しいスイーツを食べたい」という答えが返ってきました。つまり、「自分の時間が欲しい」ということなのかもしれません。一日のうちのほんの数時間だけで、それは決して、長時間でなくてもいいのです。

毎日、子どもを、追いかけてたり、抱っこしたり、自分のことを、後回しにして、くたくたになるほど、子育てに追われているのです。忙しい、心に余裕がなくなり、気が付くと、子どもを、怒鳴ってしまうなんてことになるかもしれません。そうならないために、毎日頑張っている自分に、ご褒美をあげてください。お母さんもどこかでストレスを、発散させないと、笑顔でいられなくなります。子育ては、一人ではなくていいのです。身近にいる家族や、保育園の一時預かり、ファミリーサポートなどを、上手に利用しながら、自分の時間を楽しんでみましよう。しっかりとリフレッシュできた後は、新たな気持ちで、子育てに、向き合うことができます。

まずは、罪悪感を持たず、素直に「助けて」「手伝って」「預かって」と、相手に言うことから始めてみては、どうでしょうか。
たまには、お母さんも、自分にご褒美をあげましよう。

